

ホンダ・レーシング・スクール鈴鹿(HRS鈴鹿) 2025年度 Moto Classベーシックコース 最終カリキュラムおよび修了記念走行のご報告

●2025年度 HRS鈴鹿Moto Classベーシックコース

最終カリキュラム／修了記念走行 開催概要

- 日時 : 2025年11月3日(月・祝日)
- 概要 : 最終カリキュラム／修了記念走行……鈴鹿サーキット 国際南コース(1.264km)
- 参加 : <HRS鈴鹿Moto Class(ベーシックコース)>(敬称略)
Principal／岡田忠之
Instructor／上田昇・亀谷長純・高橋裕紀・岡崎静夏・出口修・榎戸育寛
Physical Coach／植田尚吾

HRS鈴鹿Moto Classベーシックコース受講生:9名(内、1名欠席)



早朝には全体ミーティングを実施。最終カリキュラムを前に、いつも以上に緊張した面持ちの受講生たちの前で岡田Principalの檄が飛ぶ

 TAICHI

 Arai
HELMET

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXGEL®
Motor Sport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HEDC
BATTERY

 MOTOMATI
EQUIPMENT

 Sabelt

 CCI

 SHIBA LIVING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 TONY/KART
23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

 TORAY
Toray Carbon Magic

 鹿島

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
SHOCK SUPPORT SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS

積極的なバトルが見られた修了記念走行第1ヒート この走行の間に自己ベストタイムを更新した受講生も!

3月24日(月)に行ったHRS鈴鹿Moto Classベーシックコース・アドバンスコース／Formula Classアドバンスコースの合同による入校式。その日から約7ヶ月を数え、11月3日(月・祝日)に行った走行トレーニングが2025年度 HRS鈴鹿Moto Classベーシックコースの最終カリキュラムとなりました。

まずはいつものように全体ミーティングを実施。ここでは最後のカリキュラム当日を迎えた受講生に向け、岡田忠之Principalの「修了記念走行ではこれまでに学んだことを全て出し切って頑張ってください。皆さんがどのような走りを見せてくれるのかを楽しみにしています」というコメントをはじめ、Instructor陣から激励の言葉が掛けられました。

その後、準備体操を行い、鈴鹿サーキット 国際南コースをランニングして身体をウォームアップした後、いよいよ最後の走行トレーニングへ。まずは10分間×3セッションのフリー走行を行い、各自路面コンディションとマシンの状態を確認しました。これらの走行時は高橋裕紀・岡崎静夏・出口修・榎戸育寛のInstructor陣も同時走行。岡田Principal、上田昇・亀谷長純の両Instructorにはコースサイドなどで受講生のライディングをチェックしていただき、走行後にアドバイスを行っていただきました。

フリー走行の後、10分間によるタイムトライアルを行い、そこでのベストタイム順にグリッドに並び、20ラップによる修了記念走行第1ヒートを実施しました。タイムトライアルでは久原昂士がアタックラップ1周目に57秒690をマーク。中山結互が久原のタイムを上回って56秒台に入れると、その後は56秒台後半でラップを重ね、最終的に56秒618までタイムを削ってこの走行を終えました。

続いて行った修了記念走行第1ヒートではポールポジションスタートの中山が良いクラッチミートを披露してホールショットを奪うと、オープニングラップから早くも後続を引き離すことに成功。その若干後方では久原も単独2番手に。さらにそこから若干離れて佐々木慎之介と濱地柊音が3番手、川口義仁と三崎尋也が5番手争いを展開しました。

中盤に三崎が川口をパスして5番手に。佐々木と濱地が何度も順位を入れ替えるバトルを続ける間に三崎がその2台に追いつき、3番手は佐々木、濱地、三崎の3台での争いに。濱地がその3台の先頭に立つと、今までのベストタイムを更新するとともにファステストラップをマークしながら久原に接近していきましたが、パスするには至らず、中山、久原、濱地のオーダーでチェッカーを受けました。その後、佐々木、三崎、川口、高橋慶志郎、吉田葉と続けました。



始動前のウォームアップは、コースをランニングすると同時に路面コンディションの確認も行う

 TAICHI

 Arai

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXGEL®
Motorsport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HEDC
BATTERY

 MOTOMOTO

 Sabelt

 CCI

 SHIBA LINKS JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 TONY/KARI

 TORAY
Toray Carbon Magic

 KUMHO

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
SHOCK SUPPORT SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS

的確なマシンコントロール技術が身についたことが 証明された2ヒート制による修了記念走行

お昼のインターバルを挟み、30分間のフリー走行を実施。その後、20分間によるタイムトライアルを行い、そこでのベストタイム順にグリッドに並び、15ラップによる修了記念走行第2ヒートを実施しました。

タイムトライアルでは中山が周回ごとに自己ベストを更新し、最終的に56秒223をマーク。それに56秒674の三崎、56秒930の久原と続き、そこまでの3名が56秒台をマークするタイムトライアルとなりました。続いて行った修了記念走行第2ヒートではポールポジションスタートの中山と2番グリッドスタートの三崎が横並び状態で1コーナーへ。中山、三崎、4番グリッドスタートの濱地、3番グリッドスタートの久原のオーダーでオープニングラップを終了。3周目になると頭ひとつ抜け出すことに成功した中山の後方で三崎、濱地、久原、佐々木、高橋の5台が2番手グループを形成。その中で久原が三崎に続く3番手に。さらに三崎をもパスして2番手に浮上する積極的な走りを披露しました。結局、周回ごとに後続を引き離し続けた中山が2連勝を飾る結果となりました。2位は2ヒート連続の久原。三崎が3位チェッカーを受けました。

受講生の積極的なバトルが見られたことに加え、的確なマシンコントロール技術が身についたことが確認できた2ヒート制による修了記念走行の後には本番ながらの表彰式も実施。修了記念走行第1ヒートの上位3名には岡田Principalから記念トロフィーが手渡されました。続いてご協賛いただいている株式会社クシタニのレーシングサービス課長・六浦真樹様より上位3名に副賞が贈呈されました。また、4位以降の受講生にも記念メダルと副賞が手渡されました。さらには修了記念走行第2ヒートの表彰も行いました。これにより、約7ヶ月間・全9回・延べ11日間(コース使用43.5時間)におよんだHRS鈴鹿Moto Classベーシックコースの2025年度カリキュラムが全て無事に終了しました。

HRS鈴鹿Moto Class出身者としては國井勇輝選手(2016年度修了)や古里太陽選手(2019年度修了)をはじめ、国内外で活躍するライダーが数多くいます。彼らに倣って今回の受講生たちも成長していくことが期待されます。今後もHRS鈴鹿の活動、そしてHRS鈴鹿の卒業生たちの活躍にご注目願います。



HRS鈴鹿Moto Classベーシックコース修了記念走行第1ヒートスタートシーン

 TAICHI

 Arai
HELMET

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXGEL®
Motorsport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HEDC
BATTERY

 MOTUL

 Sabelt

 CCI

 SHIBA LIVING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 TONY/KARI
23 003 007 003 002

 TORAY
Toray Carbon Magic

 YAMAHA

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
SHOCK SUPPORT SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS

[50音順]



HRS鈴鹿Moto Classベーシックコース修了記念走行第1ヒート表彰式～優勝：中山結互、2位：久原昂士、3位：濱地柊音
表彰台前は4位以降の受講生たち



HRS鈴鹿Moto Classベーシックコース修了記念走行第2ヒートでのバトル

 TAICHI

 Arai
HELMET

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXGEL®
Motor-Sport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HEDC
BATTERY

 MOUNTAIN
EQUIPMENT

 Sabelt

 CCI

 SHIBA LIVING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 TONY/KART
23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

 TORAY
Toray Carbon Magic

 童夢

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
SHOCK SUPPORTED SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS

[50音順]

●最終カリキュラム終礼時の岡田忠之Principalのコメント●

「3月の入校式からこれまでお疲れ様でした。今日は良い修了記念走行を見せてもらえました。今回は雨が降りそうな天気のもと、急遽、修了記念走行第1ヒートを行うことになりましたが、それも一気に集中力を高める良い機会になったのではないかと思います。毎セッション、常に緊張感を持って臨むことが大事です。ここで学んだことを今後のレースに、そして人生に活かしていきましょう」

●修了記念走行第1ヒート上位3名のコメント●

【優勝】中山結互(13歳)

「1位になれたのは嬉しいですが、56秒台には一回しか入れることができませんでした。本当は56秒台前半から中盤でラップしたかったので少し残念です。HRS鈴鹿は2年目です。Instructorの皆さんが丁寧に教えてくださり、バイクの基本的な動きからレースの駆け引きなどまで幅広く学べるのがHRS鈴鹿の魅力だと思います。将来の夢はMotoGP™でチャンピオンを獲得することです」

【2位】久原昂士(12歳)

「修了記念走行第1ヒートではスタート直後に混乱からなかなか抜け出せませんでした。抜け出した後は追い上げ、2位でチェッカーを受けることができました。第2ヒートでも2位になることができ良かったと思います。HRS鈴鹿は積極性さえあればInstructorの皆さんが納得できるまで教えてくださいます。自分で考えることが重要であることを学ぶことができ、人間的にも成長できたと思います」

【3位】濱地柊音(14歳)

「HRS鈴鹿はバトル時の駆け引きやタイヤマネジメントなどまで幅広く学べるスクールです。しかし、今回はバトルが続いてペースを上げることができませんでした。序盤の内に引き離しておけば良かったけれど、今回はそれができなかったことが心残りです。今後はその課題を改善していきたいと感じました。そうしたことを学べたのもHRS鈴鹿で活動したからだと感謝しています」

 TAICHI

 Arai
HELMET

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXGEL®
MotorSport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HEDC
BATTERY

 MOTOMAX
RACING

 Sabelt

 CCI

 SHIBA LIVING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 TONY/KARI
RACING

 TORAY
Toray Carbon Magic

 童夢

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
RACING SUPPORT SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS



HRS鈴鹿Moto Classベーシックコース修了記念走行第1ヒート表彰式～優勝：中山結互、2位：久原昂士、3位：濱地柊音

[50音順]



約7ヶ月におよぶカリキュラムで技術が身についたことが存分に証明された修了記念走行。上写真は午前中の練習走行でコースインを待つ受講生



タイヤの空気圧を入念に測定することはタイムアップを狙う上で欠かせない重要な作業

TAICHI

Arai
HELMET

EARPEACE

EIKO
Glory of Karting

EXGEL®
Motor-sport

NGK
SPARK PLUGS

ENDLESS
Challenge to the Future

HEDC
BATTERY

ROCKSTAR
ENERGY

Sabelt

CCI

SHIBA LIVING JAPAN
advanced technology products

ThreeBond

DUNLOP

TODA
RACING

IONY/KARI
23 23 23 23 23

TORAY
Toray Carbon Magic

重宝

BRIDGESTONE

PETRONAS
Syntium

hit-air
SHOCK SUPPORT SYSTEM

mooncraft

rizoma

WAKOS



最終カリキュラムの最後の最後まで貪欲に講師陣にアドバイスを求める受講生



TAICHI

Arai
HELMET

EARPEACE

EIKO
Glory of Karting

EXGEL
Motor Sport

NGK
SPARK PLUGS

ENDLESS
Challenge to the Future

HEDC
BATTERY

FRONT TANK
FUEL TANK

Sabelt

CCI

SHIBA LIVING JAPAN
advanced technology products

ThreeBond

DUNLOP

TODA RACING

TONY/KART
23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

TORAY
Toray Carbon Magic

竜井

BRIDGESTONE

PETRONAS
Syntium

hit-air
SHOCK SUPPORT SYSTEM

mooncraft

rizoma

WAKOS



走行の合間にミーティングを繰り返し、各自の課題を明確にすることで、次の走行枠でそれを克服することを狙う



最終カリキュラムの最後の最後まで貪欲に講師陣にアドバイスを求める受講生

TAICHI

Arai
HELMET

EARPEACE

EIKO
Glory of Karting

EXGEL®
Motor-sport

NGK
SPARK PLUGS

ENDLESS
Challenge to the Future

HEDC
BATTERY

ROCKSTAR
ENERGY

Sabelt

CCI

SHIBA LIVING JAPAN
advanced technology products

ThreeBond

DUNLOP

TODA
RACING

TONY/KARI
23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

TORAY
Toray Carbon Magic

竜巻

BRIDGESTONE

PETRONAS
Syntium

hit-air
SHOCK SUPPORT SYSTEM

mooncraft

rizoma

WAKOS